

### 3. 昭和48年度市町村教育委員会 育成指導の概要

県教育委員会は、市町村教育委員会の事務局職員、教育委員および教育長の研修会等を開催し、必要な助言指導を行うとともに、昭和49年度予算編成に対する要望事項、昭和48年度教育費の実態に関する資料を配布し、市町村教育委員会の育成強化につとめた。

#### (1) 昭和48年度市町村教育委員会事務局職員研修会

##### ① 趣 旨

社会情勢の変化と教育行政の近代化にともない、教育行政事務はますます複雑多岐となり、関係職員のすぐれた事務能力と、公務員としての正しい姿勢が求められる現状にかんがみ、市町村教育委員会関係職員の資質と事務処理能力をたかめることを目的とする。

##### ② 主 催

福島県教育委員会  
福島県市町村教育委員会連絡協議会  
開催地(柳津町、富岡町、塙町、福島市(飯坂))  
教育委員会

##### ③ 期日および会場

- ・ 会 津 7月26日(木)～27日(金) (柳津町体育館)
- ・ 浜 8月1日(木)～2日(木) (富岡町)
- ・ 県中・県南 8月6日(月)～7日(火) (塙、町)
- ・ 県 北 8月22日(木)～23日(木) (飯坂婦人会館)

##### ④ 講師・助言者

県教育庁参事兼総務課長 平山正秋  
" 主幹 塙保貞  
" 主任管理主事兼行政係長 六角宏  
" 指導主事 北沼完  
各会場ブロック教育事務所長・次長・管理課長・管理主事

##### ⑤ 研修内容

第1日

全体会

○ 講 話

- ・ 当面する地方教育行政上の諸問題
- ・ 地教行法上における市町村教育委員会の問題点
- ・ 市町村教育委員会の予算編成ならびに栄典事務について

分科会

- Aコース 実践発表(事務局職員経験年数6年未満の者)
  - ・ 研究協議題「事務処理上の問題点と改善の方策について」
- Bコース 研究発表(事務局職員経験年数6年以上の者)
  - ・ 研究協議題「市町村教育行政実務提要」の研究について

第2日

分科会 研究協議・指導

全体会 分科会の報告と指導

##### ⑥ 参加人員

Aコース 104名 } 計 172名  
Bコース 68名 }

#### (2) 第11回福島県市町村教育委員会いわき大会

##### ① 目 的

市町村教育委員会委員を対象として研修会を実施し、市町村教育行政上の基本的問題ならびに委員の職務について研修を深めることを目的とする。

##### ② 主 催

福島県教育委員会  
福島県市町村教育委員会連絡協議会  
いわき市教育委員会

##### ③ 期 日

昭和49年10月16日(火)11:30～

##### ④ 会 場

いわき市平市民会館

##### ⑤ 講師および演題

演題「宝石あれこれ」

東北大学教授理学博士 砂川 一郎

##### ⑥ 議 題

ア、標準法改正に当っては、過疎地域に対して下記の特別措置を講ぜられるよう国に要望されたい。

(ア) 校長及び教諭等の算定基準を引き上げること。

(イ) 3箇学年複式の解消を図ること。

(ウ) 4学級以下の中学校の教員定数を引き上げること。

(エ) 事務職員・養護教員の定数算定基準を引き上げること。

イ、教員の専門性確立のため、次の事項についてその実現を図られたい。

(ア) 複数制の教頭の設定を拡大すること。

(イ) 教務主任・学年主任・教科主任等中間管理層の格付けを明確化し、その優遇策を検討すること。

ウ、幼児教育振興のため、義務教育諸学校国庫負担法を幼稚園にも適用するよう国に要望されたい。

エ、社会教育・社会体育・学校給食等の施設設備の整備に対し、その補助対象面積建築単価、補助単価、補助率等をさらに増加するよう要望されたい。

オ、地方教育行政の確立のため、市町村教育委員会の組織の充実を図るよう、関係当局に強力に要望されたい。

##### ⑦ 参加人数 560名

#### (3) 昭和48年度福島県市町村教育委員会教育長研修会

##### ① 目 的

市町村教育委員会の当面する教育行政施策の基本問題について共通理解を深め、最近の文教施策の動向に適應する教育行政の適正な運営に資し、その充実を図る。

##### ② 主 催

福島県教育委員会  
福島県市町村教育委員会連絡協議会

##### ③ 期 日

昭和48年11月28日(木)～29日(木)

##### ④ 会 場

福島市飯坂町(あづま荘)

##### ⑤ 講 師

福島県教育庁義務教育課長

古 関 富 男